

上越市議会議員 丸山 章 だより

全力で皆様の声を市政に!!

隕石の里から

いんせき さと



第16号 令和6年11月 発行責任者 丸山 章 / 上越市清里区馬屋777

“目新しい内容ほぼゼロ”

今までの施策に継ぎ足し程度の感否めず

市長は、地域の歴史や文化を観光資源として磨き上げることにより、観光の活性化を図ることとともに、持続可能な地域資源として後世に伝承するため、上越市通年観光計画（令和6年度～令和12年度までの計画）を策定したが、果たして、この度の計画で磨き上げができるのか、不安は募る。特筆すべきは、三つのエリア（高田・直江津・春日山）に重点を置いた計画であるが、市長の公約（以下）を通り観光へと導く内容になったのか、お茶を濁す程度の計画になつたことは否めない。



以下は、令和6年1月・3月・6月議会
一般質問、委員会質疑



〈市長公約〉

通年観光

開眼するか

II 市長の提唱する
『通年観光の公約』

答／空き古民家・町家の活用にあたり、愛媛県大洲市の取組を参考にしたようだが、当市の城下町の歴史的町並みを保全するうえで、大洲市の取組は当てはまるのか。上越市バージョンはどのような体制・取組になるのか。

- ①雪国文化の「雁木町家」「寺町」の町並み整備・保存。
- ②町家・古民家を整備し、観光資源として「通年観光」を実現する。
- ③えちごトキめき鉄道や軽便鉄道と連携して、「鉄道博物館」をつくる。
- ④春日山城を上杉謙信公の聖地とし、本格的な観光地に整備する。

高田地域

総事業費：2億3,400万円

=主な計画内容=

●淨興寺大門通り修景整備計画の策定・整備

……道路、電柱、街灯、橋等の修景整備計画を策定し、整備する。



事業費：1億300万円

●街並み保全に資する既存支援制度の拡充

……雁木や町家による町並み保全の支援強化

事業費：3,000万円

●グリーンスローモビリティ運行……実証実験を踏まえ運行する。

事業費：4,900万円

●レンタサイクル整備……高田城址公園周辺で整備する。

事業費：1,300万円

●枡形門再現可能性調査研究……再現可能性を調査研究する。

事業費：1,300万円

問／貴重な文化財産である雁木町家は、条例がないとその都度整備の考え方がある。街並みが損なわれてしまうため、统一した町並みを保つには条例が必要になる。

部長／雁木町家に対して、条例で建物に対する規制をかけることは考えていない。

問／文化遺産である雁木町家が歯抜け状態になら値上がりしてしまう。観光振興に向け、どのような街をつくりたいのか。

雁木町家が歯抜け状態になら値上がりするところはできない。

副市長／雁木町家の保存に関して、今まで継続した取り組みがなかつた。金沢市・京都市は、条例に基づき何十年と取り組みを続けてきた結果がなかつた。今街をつくり上げている。当市も住民との合意の下、条例制定を図ると思うので、実現成

を図つていきたい。

副市長とあきら 認識一致

雁木町家保存条例関連

令和6年3月定例会一般質問

問／雁木町家保存条例を作ることを検討しながら進める。※令和6年1月通年・広域観光推進特別委員会答弁を変更

副市長／住みやすさが前提の雁木町家であるうえ、火事、大雪等の考え合わせも大切である。観光客、景観等に配慮しつつ、住民との合意形成を前提に取り組んでいきたい。

問／やはり私の考え方と一致。市长、何時頃までに決断するのか。

答／地元との合意形成が必要だ。

問／市長公約でありながら既に2年以上経っている。合意形成のための動きを聞きたい。

答／地元に赴いて現場の人たちと意見交換してきた。

問／話合いの内容は。

答／どのような方向性で通年観光が進むかについて話した。

問／雁木町家について、市民の反応は。

答／活動している皆さんとの話し合いで、地元の町内会長等とは話していない。

※雁木町家に関して、地元町内会長に何も話していないとは、信じがたい。

問／職員に話合いを進めるよう指示したのか。

スピード感のなさ際立つ！

7年かけてこれだけ！

高田地区の通年観光計画は、検討4件、研究1件、支援制度の拡充が3件、社会実験が1件となっている。唯一の事業実施は、浄光寺大門通り修景整備計画の策定・整備、二次交通整備（ゲリーラ、スローモビリティ運行等）である。将来を見据えた大胆なビジョンを描げず、当たり障りのない計画となってしまった。

雁木町家保存条例に関しては、早期の条例制定が必要との質疑を以前にしたにも関わらず、何も協議されずに来たことが判明した。市長の通年観光を推進するうえで、条例制定は外せないものであります。部長と副市長の認識のズレが生じて、後日、部長は答弁を変更した。問題は、市長が適切な指示を出していれば進捗していくものの、部下に丸投げ状態であったことから施策の停滞を招いている。

答／直江津地域 総事業費：10億500万円
=主な計画内容=

- 直江津D51レールパーク拡充整備
……扇形庫の耐震改修、鉄道遺産展示、資料館等の整備。
事業費：4億6,400万円
- D51形蒸気機関車75号機移設・動態保存
……圧縮空気を動力源とし、乗車体験や運転体験を行う。
事業費：6,400万円
- 直江津屋台会館・海浜公園環境整備……新たな観光産業、賑わい拠点の創出、まちづくり組織の検討を目的とした社会実験を踏まえた環境整備。
事業費：1億6,300万円
- 船見公園環境整備……上記の社会実験を踏まえた環境整備。
事業費：1億7,000万円
- 街灯及びオブジェ等整備……誘導や歓迎ムード演出のため整備。
事業費：5,600万円

問／街灯、オブジェの整備とは、どの程度の計画なのか。

答／街灯は、海沿いの雰囲気を醸成するため、船見公園沿いの設置を見

問／雁木町家保存条例に関して、会で必要性について副市長に問うた際、副市長の考え方は私と一緒にだった。早急に条例を作るべきである。

部長／条例を作ることを検討しながら進める。※令和6年1月通年・広域観光推進特別委員会答弁を変更

副市長／住みやすさが前提の雁木町家であるうえ、火事、大雪等の考え合わせも大切である。観光客、景観等に配慮しつつ、住民との合意形成を前提に取り組んでいきたい。

問／やはり私の考え方と一致。市长、何時頃までに決断するのか。

答／地元との合意形成が必要だ。

問／市長公約でありながら既に2年以上経っている。合意形成のための動きを聞きたい。

答／地元に赴いて現場の人たちと意見交換してきた。

問／話合いの内容は。

答／どのような方向性で通年観光が進むかについて話した。

問／雁木町家について、市民の反応は。

答／活動している皆さんとの話し合いで、地元の町内会長等とは話していない。

※雁木町家に関して、地元町内会長に何も話していないとは、信じがたい。

問／職員に話合いを進めるよう指示したのか。

問／雁木町家保存条例に関して、会で必要性について副市長に問うた際、副市長の考え方は私と一緒にだった。早急に条例を作るべきである。

部長／条例を作ることを検討しながら進める。※令和6年1月通年・広域観光推進特別委員会答弁を変更

副市長／住みやすさが前提の雁木町家であるうえ、火事、大雪等の考え合わせも大切である。観光客、景観等に配慮しつつ、住民との合意形成を前提に取り組んでいきたい。

問／やはり私の考え方と一致。市长、何時頃までに決断するのか。

答／地元との合意形成が必要だ。

問／市長公約でありながら既に2年以上経っている。合意形成のための動きを聞きたい。

答／地元に赴いて現場の人たちと意見交換してきた。

問／話合いの内容は。

答／どのような方向性で通年観光が進むかについて話した。

問／雁木町家について、市民の反応は。

答／活動している皆さんとの話し合いで、地元の町内会長等とは話していない。

※雁木町家に関して、地元町内会長に何も話していないとは、信じがたい。

問／職員に話合いを進めるよう指示したのか。

◆意見 答／指示している。

問／職員からの情報 今、答弁からして内容把握をしていないと推測した。

答／逐次報告を受けている。



ひとと

訪れた人が新鮮な気持ちになれるように特徴を出すことが大切で、五感で感じるような観光施策を推進しないことには通年観光へ導けない。

※旅行先を選ぶ際に最も重視することは「リラックス・癒やし(85.2%)」、次いで、ほぼ同列数値で「見たことのない風景や景色(84.6%)」がランクイン、「非日常体験ができる(70.6%)」等(2018年7月11日観光経済新聞の掲載記事より)

込んでいる。オブジェは、この場所に訪れたことが分かり、一緒に写真を撮つてSNSで発信することを想定している。問／小手先に終始した企画では、新しさがなく観光客が「いいね」、また「直江津に来たいね」とはならない。特徴のある街づくりをしなくてよいのか。

答／上越地域でキッチンカーが増えていることを踏まえ、海浜公園や船見公園で色々な社会実験を行なっているながら今後をつくっていく。

問／私が提言した特徴ある「オーシャンヒストリーロード」をつくって、観光客が新たな体感を味わうてもらえる施策が必要でないのか。

答／何億円もかけてオブジェ等をつくる考え方は少し違うと思う。人は物で來るのはなく、楽しいことがあるから来ると思う。計画を変える気はない。

（観光施策で重要なのは、目の視点ではなく大局的視点にたち、特徴のある将来ビジョン、戦略のもと、強い意志を持って取り組みを推進することが最も重要なある。）

一考

焦点 総事業費36億8千万円! 春日山地域 費用対効果?

=主な計画内容=

●観光拠点施設整備

……休憩、飲食、物産、学習、貸室を備える。

事業費:21億5,000万円

●「総構」(第1期)……堀と土塁を復元整備し、植栽を行う。

事業費:5億円

●植林伐採……史跡保護を目的に、春日山城跡の北側の植林伐採

事業費:4千200万円

●(仮称)馬場広場改修……修景整備し、飲食、物産機能を強化

事業費:2億1,000万円

●愛宕谷公園改修……黒金門ルートとして愛宕公園を改修

事業費:1億2,000万円

●春日山荘跡地整備……春日山荘を除却し、駐車場不足の備え等、活用策を検討

事業費:1億4,000万円

上杉謙信公

市民の期待に応え得る計画か?

観光拠点施設 急ぐ必要性なし!

計画されている総構え等の整備により、当初は観光客等の増加が見込めるものの、問題はその先になる。他自治体と同じようなものをつくっても新味はなく、観光客増は限定的となる。オンラインの観光資源が整っていない以上、観光拠点施設を建設しても利用者の先細りは想定できる。税金を22億円投入する施設を閑古鳥が鳴くような施設にしないよう、しっかりと見極めることが重要であり、その後に建設しても決して遅くはない。現状の施設を活用しつつ、まずは唯一無二の観光資源を整えることが重要である。

問／休憩、飲食等の施設をつくるとしているが、後々重荷になる施設になり得ることから、事前調査が必要でないか。

答／同じような懸念を持つて個人客が支流になりつつある今日、施設の大きさ等について、ニーズ調査を含め慎重に検討していく。

問 本計画は、既に基本構想、基本計画はもとより、実施計画も示されている。この度も紙ベースの計画に7,000万円を授じるのか。アドバイザー等を依頼し、職員が中心になって計画は作成できる。

答 ①実施設計に入る前の基本設計レベルについて、専門的な業者に委託したい。

問 当市は、愛媛県大洲市を参考にしたのであれば、大洲市の市長の方針のように職員で計画策定すれば半額以下で済む。私は職員時代にアドバイザーを依頼し2年間で基本構想と

答／歴史の検証で、こうだつたと断定することはありえない。調査の中から選択を

答／作成を支援していただく業務である。

問／まだ良く分からぬ。6つの計画は職員がつくるのか、業者がつくるのか。

答／専門的な知見に関する一部業者に委託する。

問／業者から指導を受けながら計画をつくることでよいか。

答／その認識で良い。

に期待していましたが、蓋を開けてみてビックリ、目を覆いたくなる内容に愕然としました。市民の皆様が自信をもつて当市を自慢できるような誇れる都市へと変貌させることを強く感じました。小手先の計画で特徴を持たせることは難しいことです。オンラインによる政策(施策)があつこそ、通年観光に導けるものと確信します。

問／市の直営事業（100%市負担）の場合、目的を踏まえながら判断しているとのことだが、分かりやすい判断基準等を示すべきである。

答／マニアカル化をしつつ取組を通じて改善していく。

を配布するため、地域独自予算事業を行っているわけではない。答えにならず。

期待 地域に入り込む行政の積極的行動

答／大洲市は職員の他に金融機関等の力を借りながら実現したもの。そのやり方を真似ることはない。

問／委託業者は県外なのか。

答／基本的には全国の中から探していきたい。

のの通年観光に繋がるとは思えない。謙信公の遺構が肌で感じ、想像を膨らませることのできる観光資源は必須であり、唯一無二の市の魅力を示すことは重要である。※「観光政策」とは何かを改めて深考してほしいものである。

え方を聞きたい。
答／住民、団体等、誰でも提案できるので、地域の特性が出ることを望んでいる。

事業程度は提案される
はず、次年度からは全
な状況は改善される
認識してよいか。
問／総合事務所等が協
力して取り組んでいく
という制度として固め
ている。答えにならず。
問／地域独自予算の要

一
考

他自治体の史跡と同様の総構（土塁・堀）を整備しても、後年に春日山を統治した堀秀治が整備

急げ エントリー

部分の構築

急げ

エンターン部分の構築

期待 地域に入り込む 行政の積極的行動

答／協働の精神で行つ

ていく。
問／上越市の憲法ともいえる上越自治基本条例に「協働」が示されている。条例、要綱等を作成するうえで上位法令を遵守することは行政の基本である。行政は地域と同じテーブルに着かなくてよいのか。

答／地域協議会は地

域の団体と協議し、課題を把握している。地域で何をやるか調査してほしい旨お願いしている。答えにならぬ。

問／地域づくりの課題に優先順位をつけた結果、地域で何をやるか調査してほしい旨お願いしている。答えにならぬ。

●当市の一般会計で見込める歳入は、市税・使用料・財産収入等から生まれる自主財源が年間400億円位のほか、金等の依存財源を合わせると1,000億円規模になる。これによて、歳出予算を組み各種の事業を執行している。

一考

問／副市長4人制等について、折に触れて説明したいと述べたが、この度の答弁では、一般質問で説明してきたので、説明する場面は設けないといふことか。

市長 残り任期
僅か1年4か月

あきらのつぶやき

【編集後記】

2016年4月の初陣の厳しい選挙戦を経験してからあつという間に8年が経過しましたが、この間、市政の課題、問題への対応など、様々な経験を積ませていただきました。これからも議会人として、緊張感を持ちながら市政発展に微力を尽くしたいと存じますので、今後ともご指導のほど宜しくお願ひ申し上げます。

市民の皆様も注目されている政策について、今まで検討・研究を重ねてきたにも関わらず、この度も市長は決断できませんでした。進展しない理由は何なのか？聞く耳を持たないのか？なぜそんなに頑なになるのか？決断が遅くなればなるほど、世間的評価に影響を及ぼすと思うのですが…。市民の皆様はどうに思われるでしょうか。

寒いのが苦手な方にとっては、これからつらい季節になるかと思いますが、市民の皆様、お風邪などひかれませんよう健康新意願います。

保護者が日曜、祝日勤務のために留守家庭になってしまう場合、就学前のお子さんはファミリーヘルプ保育園に預けることができるが、小学校に入学すると、就学前に受けっていた手厚い支援が打ち切られ、必要なファミリーサポートセンターになる。

■あきらのHPの議会だよりに「提言」を掲載してありますので、ご覧いただければ幸いです。

問／質問に答えていた
業に変更し提案できる制度に変えた。

答／国・県の補助金があれば担当課につけたままで、きつぱりと市民に申し上げた方が市長の価値は上がる。

部長／国・県の補助金があれば担当課につけたままで、きつぱりようにしている。補助金の活用はしっかり行う。

令和6年6月 定例会一般質問

副市長4人制・政策アドバイザー

またもや 決断できず!!

◆進言

問／説明する機会は何回かあり、そこで説明した。
答／政治家の人数が少なすぎるので説明してほしい。

問／新たな議員も誕生されたので説明してほしい。

問／新たな議員も誕生されたので説明してほしい。

あきらの提言 受け入れへ

朗報 ファミリーヘルプ児童園

この期に及んで、まだ研究検討していくのか。次期に向け今は潔く諦めますと、きつぱりと市民に申し上げた方が市長の価値は上がる。

ご相談、ご意見等はお気軽に

市議会議員 丸山 章

携帯 090-4724-0574
TEL 025-528-3859
FAX 025-528-3859

Eメール(新アドレスになりました)
amaru103@yahoo.co.jp

ホームページ 丸山章 検索